

4. ASEAN (東南アジア諸国連合) について



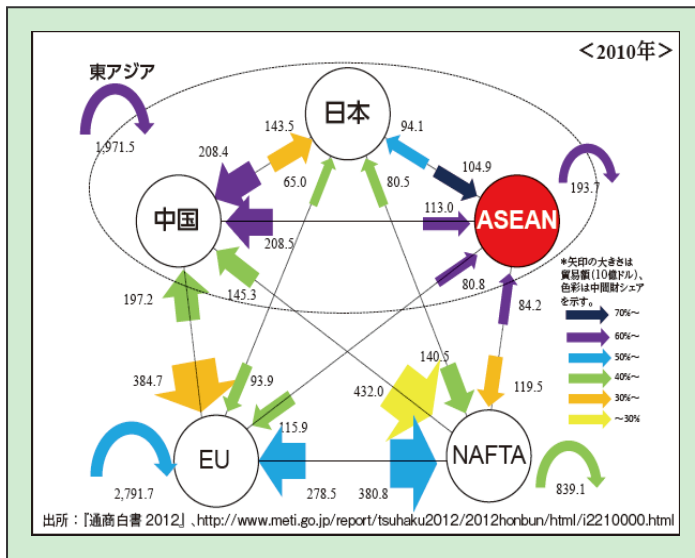
ASEAN

■ 東南アジア圏は、若年層が厚く人口成長が続き、購買力の上昇とともに巨大な販売市場としての大きなポテンシャルを持っています。ASEANの成長率は今後さらに上昇すると予測されており、将来も発展が見込まれます。

インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ブルネイ	ベトナム	ラオス	ミャンマー	カンボジア

ASEAN 経済共同体 (AEC)

2015年には、ASEAN共同体として「ASEAN経済共同体(AEC)」が創設されます。



国際機関日本アセアンセンター (ASEAN情報マップ) より

- ASEAN共同体の中で経済共同体(AEC)は、
 1. 単一の市場と生産基地
 2. 競争力のある経済地域
 3. 公平な経済発展
 4. グローバルな経済への統合を、目指しています。

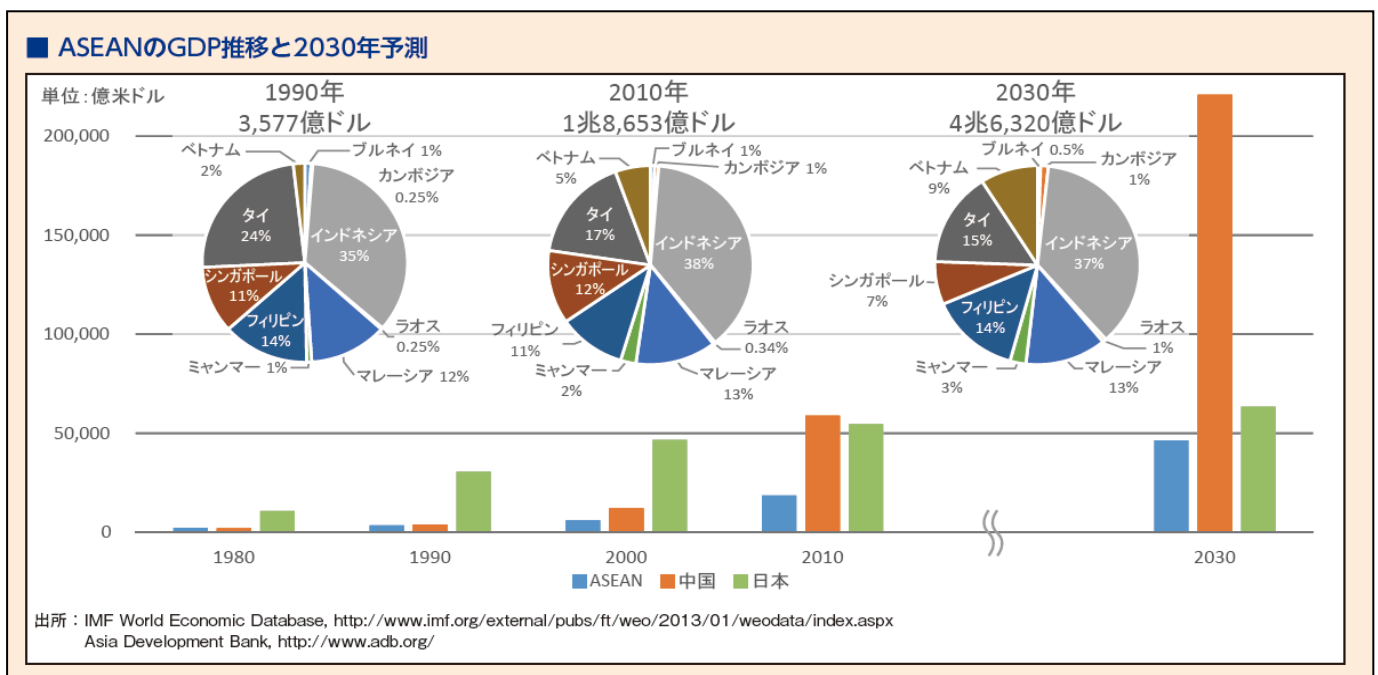
加盟国10カ国で関税を原則撤廃する予定です。

「物品、サービス、投資、熟練労働者の自由な移動と資本のより自由な移動」を目指しています。

今後は、物品の移動には域内関税はほぼ撤廃され、自由化レベルの高いFTA(自由貿易地域)が実現し、東アジアの経済発展へと大きな効果をもたらします。

ASEANのGDP推移と2030年予測

- ASEANのGDP(国民総生産)は、2030年には4兆ドルを越えるといわれています。今後20年間で現在の2.5倍近くの成長が予想されています。



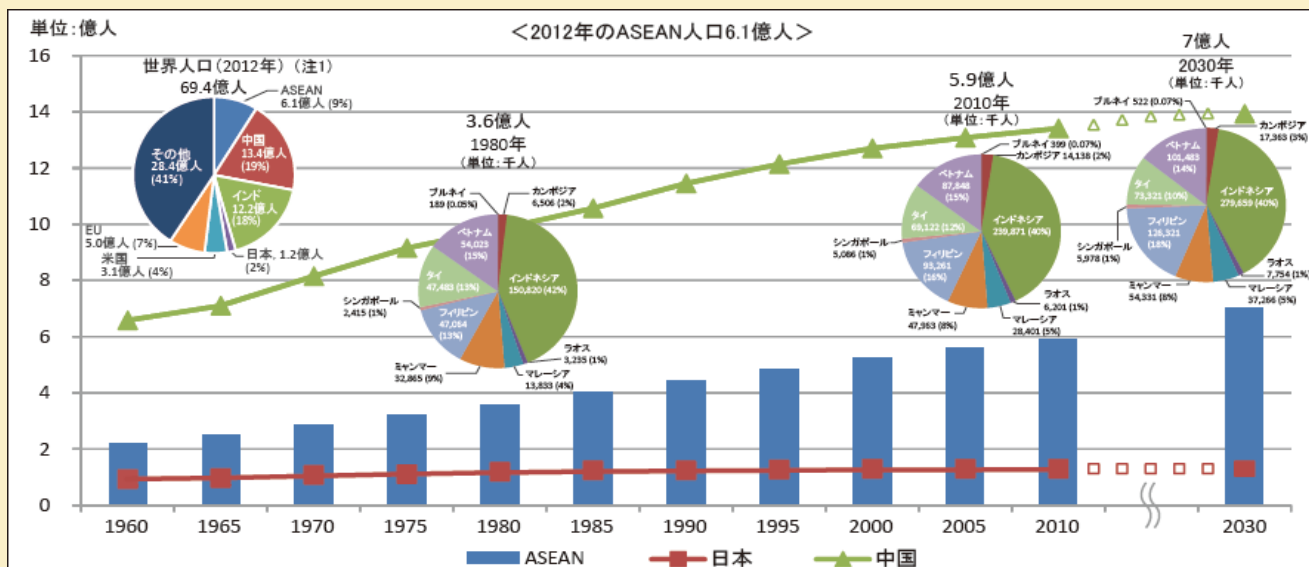
国際機関日本アセアンセンター (ASEAN情報マップ) より



ASEANの人口推移と2030年予測

- ASEAN諸国の人口成長は著しく、日本を除く東アジアの都市人口は2000年の8億人から2030年には14億7,000万人に増加し、都市化率（都市人口/総人口）も62%に達するといわれています。
- 都市化率が進むことで、所得水準が高まり都市部が消費を牽引する巨大な消費市場が形成されます。今後も人口成長が続き、生産（消費）年齢人口も増加し続けていくことが期待できます。

ASEANの人口推移と2030年予測



国際機関日本アセアンセンター（ASEAN情報マップ）より

ASEANへの食品輸出について

- ASEAN各国への輸出は大きく伸びています。日本からASEANへの食品輸出は、ASEAN全体で1990年では、31,712百万円（ベトナムの実績は2000年）から、2010年には52,162百万円と、60%を超える伸びを示しています。2002年から順次各国との二国間経済連携協定（EPA）が締結され、今後もますますの拡大が見込めそうです。

国際機関日本アセアンセンターより

ASEAN各国のEPA（二国間経済連携協定）締結状況

および日本からの食品輸出額（上段2010年：中段1990年：下段伸び率）

単位：百万円

国	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ブルネイ	ベトナム	ラオス	ミャンマー	カンボジア
EPA加入	●	●	●	●	●	●	●			
2010年	3,318	3,910	3,516	13,074	17,897	45	9,935	13	174	280
1990年	1,820	2,668	4,919	9,830	10,886	29	1,555 (2000年)	5	0	0
伸び率	82%	47%	△29%	33%	64%	55%	539%	160%	—	—